

待ってます！蔵書一同

豊橋図書館事務課 中山 欽司

豊橋図書館の閲覧カウンター係をしています。

韓国の医官『ホジュン(許浚)』という小説を読みたい、との問

合せがあり、名古屋図書館で所蔵していたので取寄せをした。依頼者は都合で直ぐに利用出来なくなったので、代わりに利用させてもらった。文庫本3冊を一気に読んだ。その後、語学教育研究室にホジュンのDVDがあることがわかり、利用させてもらった。韓国で10年前にテレビドラマとして放映され、当時話題となったとのことであるが、全く知らなかった。昔、朝鮮は身分差別の激しい国であった。賤民の子供が医者になるのは通常ではありえないことであったが、それはドラマ。各巻にそれぞれ見せ場があり、次が見たくなるように作られている。内容で強烈だったのは倭寇、すなわち豊臣秀吉の朝鮮征伐の戦火から医学書を守る場面があるが、この時代から両国の関係がこのようであったかを思い知った。

昨年夏、テレビで長崎県の軍艦島が若者の観光スポットとし脚光を浴びているとの放映があった。新刊図書コーナーの中に『軍艦島』を発見。何と太平洋戦争時に炭鉱地として朝鮮から多くの人を連れてきて強制労働させていた島ではないか。島から脱出することは容易でなかったが脱出成功。小説であるからには創作であるが、被害当事者の証言、日本にも4年間取材・執筆滞在され、15年かけて作品を完成させた。著者は、小説を読んだ人々がどのように生きていくべきか考えてもらえればと希望している。

読書は好きな時にすればいい。図書館には宝物が一杯ある。書架に収まってから誰の手にも取られていない資料もある。空いた時間を図書館で静かに過ごすことをお勧めします。

